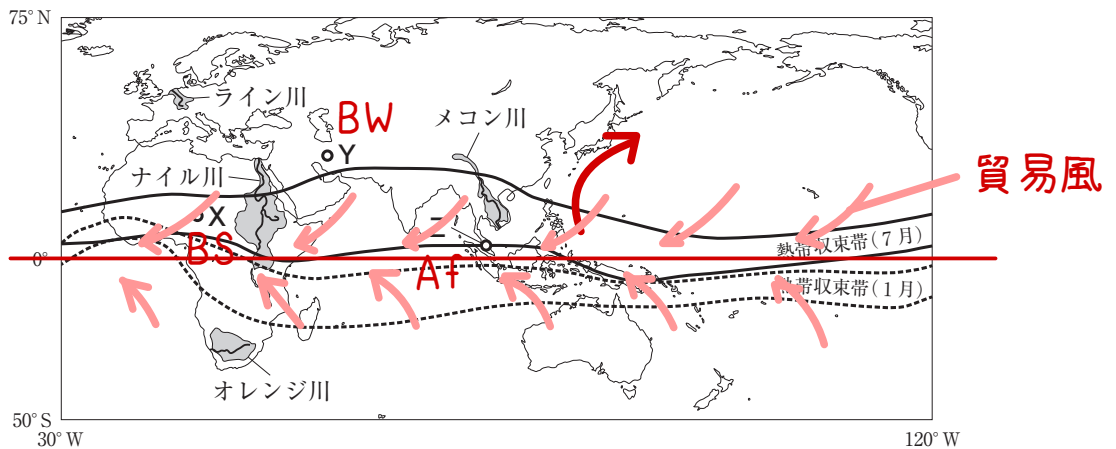


# 地 理 B

(解答番号  ~ )

第1問 熱帯の気候と日本の自然災害に関する次の問い(A・B)に答えよ。

A 次の図1を見て、また下の先生と生徒の会話文を読み、下の問い(問1～4)に答えよ。



河川周辺に示された範囲は、当該河川の流域を示す。  
吉良(1983)などにより作成。

大気大循環より

図 1

先生 「図1は熱帯収束帯が形成される範囲を示しています。熱帯収束帯では積乱雲が次々と発生していて、赤道低圧帯とも呼ばれます」

生徒 「どうして熱帯収束帯では積乱雲が発生するのですか？」

先生 「赤道付近では a 南北からの風が収束 していて、また太陽からのエネルギーを多く受けることから、激しい対流活動や上昇気流が生じているためです」

生徒 「赤道付近が熱帯雨林気候(Af)になるのは、熱帯収束帯の影響なのですね」

先生 「その通りです。熱帯雨林気候だけでなく、 b その他の熱帯地域や周辺地域の気候も熱帯収束帯に影響を受けています」

問 1 会話文中の下線部 a に関して、熱帯収束帯で収束する南北からの卓越風の風向の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 1

- ① 北西と南西    ② 北西と南東    ③ 北東と南西    ④ 北東と南東

問 2 会話文中の下線部 b に関して、そのように考えられる根拠を述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

- ① アフリカのサヘル地域では、干ばつの被害を受けることがある。  
 ② 太平洋東側の赤道付近では、平年よりも海水温が高くなる時期がある。  
 ③ 熱帯雨林気候に隣接する地域では、雨季と乾季がみられる。  
 ④ 北西太平洋の温帯の地域では、暴風雨をもたらす熱帯低気圧が襲来することがある。

エルニーニョ現象

問 3 次の表 1 中の①～④は図 1 中のオレンジ川、ナイル川、メコン川、ライン川のいずれかの河川の河口付近における年流出高\*と、流量が最大になる月を示したものである。ナイル川に該当するものを、表 1 中の①～④のうちから一つ選べ。 3

\* 1 年間の河川総流出量を流域面積で除し、水深に換算したものである。

よくわかんない

表 1

	年流出高 (mm)	流量が最大になる月
①	618	9 月
②	436	1 月
③	14	7 月
④	9	3 月

Global Runoff Data Centre, University of New Hampshire の資料により作成。

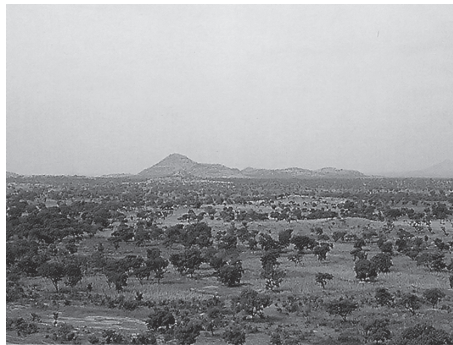
問 4 次の写真 1 中のア～ウは、図 1 中の X～Z のいずれかの地点の景観を撮影したものである。ア～ウと X～Z との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 4



ア BW



イ Af 熱帯雨林



ウ BS ステップ(短草)気候  
写真 1

紛らわしすぎ！  
狙いが分かればOK

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	X	X	Y	Y	Z	Z
イ	Y	Z	X	Z	X	Y
ウ	Z	Y	Z	X	Y	X

B 日本の自然災害に関する次の問い(問5～6)に答えよ。

問5 火山について説明した次の文章中の下線部c～eについて、正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 5

日本には100以上の活火山が存在し、その火山活動により様々な災害が引き起こされてきた。例えば、c 高温のガスと固体粒子が一体となって高速度で流下する火砕流は、山麓かざいりゅうに大きな被害をもたらす。また、火山灰は風下側に堆積し農作物などへ甚大な被害を与えるだけでなく、d 大気中に長期間とどまって、地球規模の気温上昇を引き起こすことがある。その一方で、私たちは火山からの恩恵も受けており、その美しい景観を観光資源として活用したり、e 地下の豊富な熱エネルギーを利用して地熱発電を行ったりしている。

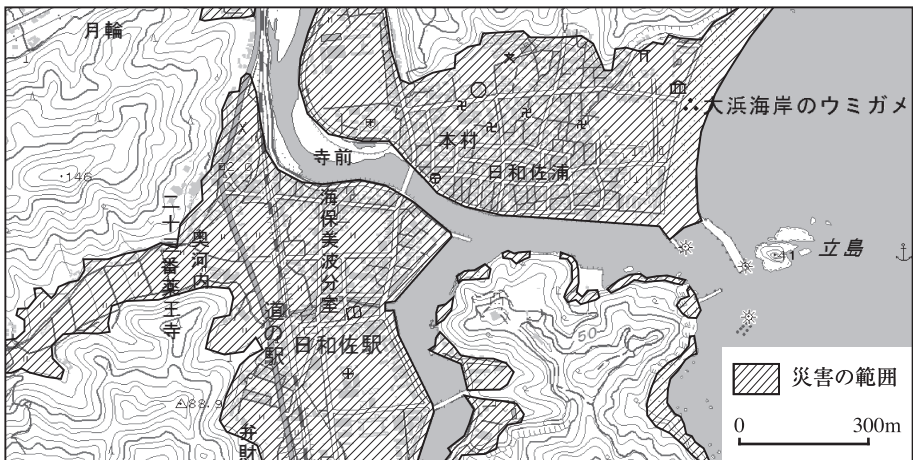
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
c	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
d	正	正	誤	誤	正	正	誤	誤
e	正	誤	正	誤	正	誤	正	誤

火砕流は数百度の水蒸気が時速数十キロで流れるので、逃げられない

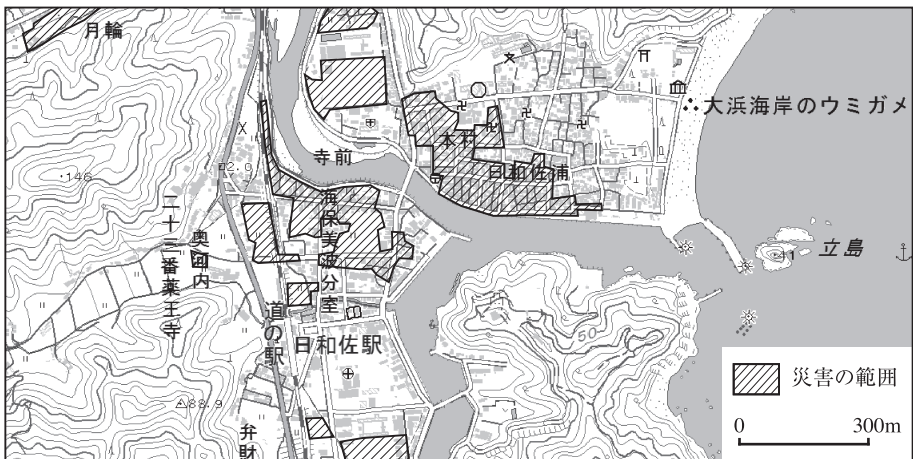
火山灰は、成層圏まで噴き上がったまま数ヶ月留まるので、気温低下をもたらす

問 6 次の図2は、ある地域で危惧<sup>きぐ</sup>されている災害の範囲を地形図上に示したものであり、図2中のカ〜クは、河川が氾濫<sup>はんらん</sup>した際の水深1m以上の浸水、急傾斜地の崩壊、津波による水深1m以上の浸水のいずれかである。災害をもたらす現象名とカ〜クとの正しい組合せを、次ページの①〜⑥のうちから一つ選べ。

6



カ



キ



ク

自治体の資料などにより作成。地形図は地理院地図を用いた。

図 2

	河川が氾濫した際の 水深 1 m 以上の浸水	急傾斜地の 崩壊	津波による 水深 1 m 以上の浸水
①	カ	キ	ク
②	カ	ク	キ
③	キ	カ	ク
④	キ	ク	カ
⑤	ク	カ	キ
⑥	ク	キ	カ

津波の「津」は興味「津々」の盛り上がるという意味  
場所に関係なく低い所から海に飲み込まれていく

**第2問** 地理の授業で、「なぜ、世界で食料問題が起こっているのか？」をクラスで探究していくことにした。世界の食料問題に関する次の問い(問1～6)に答えよ。

(参考問題) 問1 授業の最初、先生から世界の地域別に、発展途上国の栄養不足人口率が次の表1のように示され、食料不足が生じている地域\*を確かめた。次に、食料不足が生じる理由を考察するため、穀物自給率と人口増加率をみることにした。次ページの図1中のアとイは、穀物自給率、人口増加率のいずれかの指標について、その高低を国別に示したものである。栄養不足人口率と穀物自給率および人口増加率との関係を述べた文として最も適当なものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。

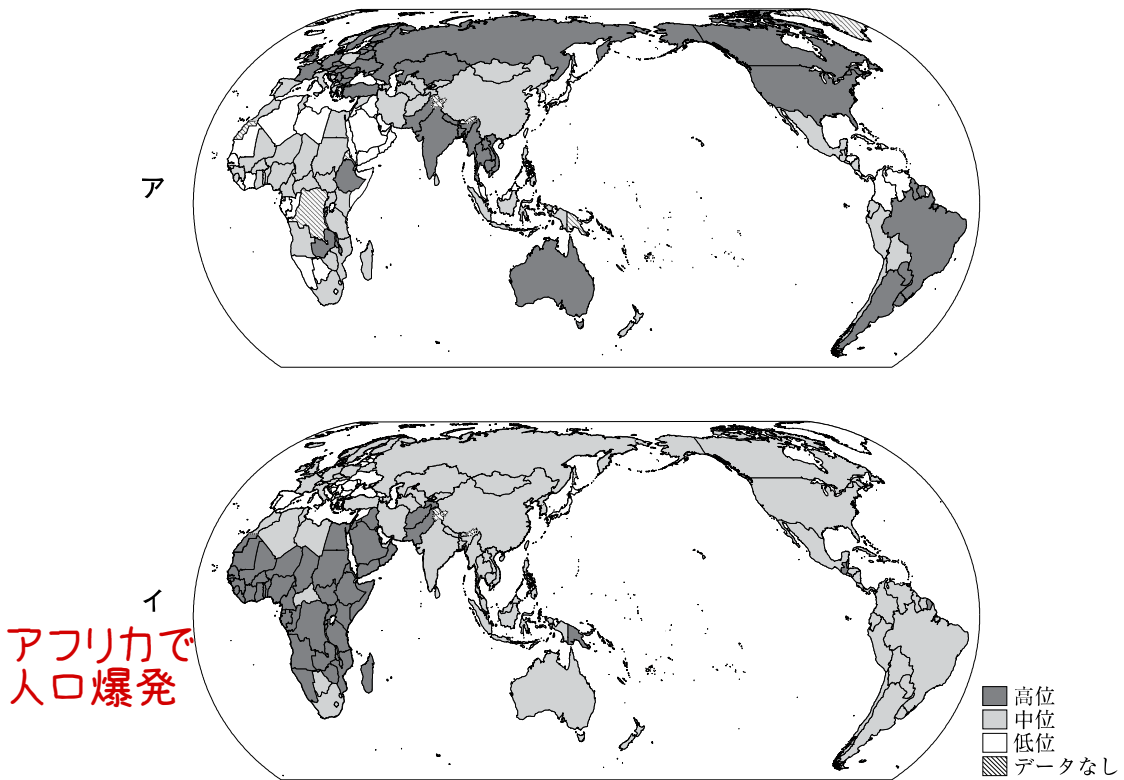
\*先進国の栄養不足人口率は5%以下。

表 1

地 域	発展途上国の栄養不足人口率
アフリカ	20.7%
アジア	13.5%
ラテンアメリカおよびカリブ海諸国	6.4%
オセアニア	13.5%

統計年次は2010～2012年。

*The State of Food Insecurity in the World 2015* により作成。



統計年次は穀物自給率が2011年、人口増加率が2010～2015年の平均値。  
国連人口統計などにより作成。

図 1

- ① アは穀物自給率、イは人口増加率を示しており、栄養不足人口率が高いところは、穀物自給率が高く、人口増加率が低い傾向がみられる。
- ② アは穀物自給率、イは人口増加率を示しており、栄養不足人口率が高いところは、穀物自給率が低く、人口増加率が高い傾向がみられる。
- ③ アは人口増加率、イは穀物自給率を示しており、栄養不足人口率が高いところは、穀物自給率が高く、人口増加率が低い傾向がみられる。
- ④ アは人口増加率、イは穀物自給率を示しており、栄養不足人口率が高いところは、穀物自給率が低く、人口増加率が高い傾向がみられる。



次に、世界で主食となっている主な作物について、各班に分かれて調べた。  
次の図2中のカードA～Dは、各班が調べることにした課題である。

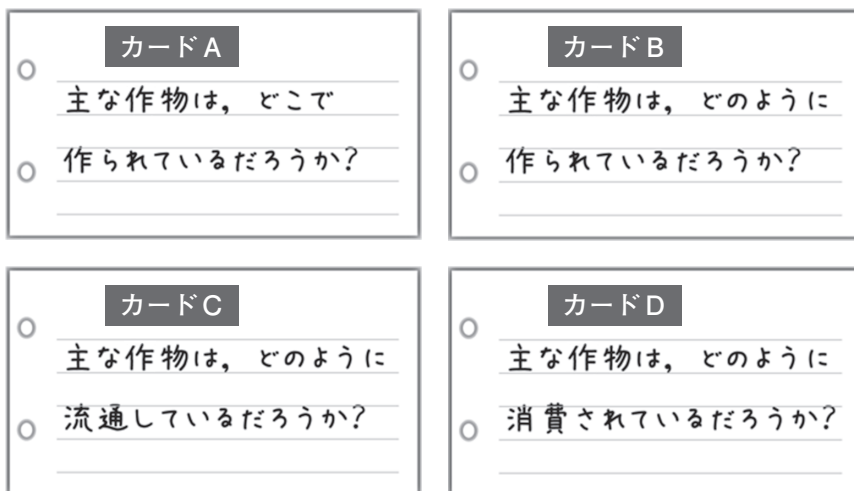


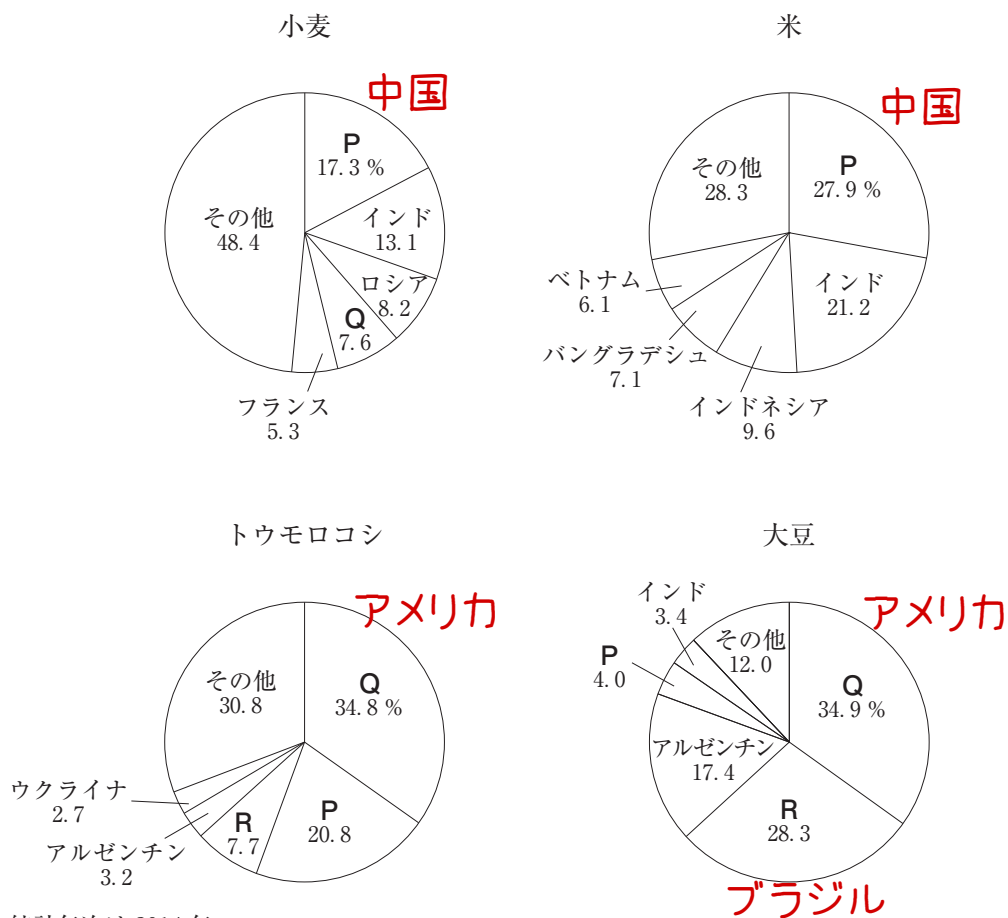
図 2

問 2 図2中のカードAを調べた班は、主な作物の生産国を調べ、グラフにまとめた。次ページの図3は、小麦、米、トウモロコシ、大豆について、上位5か国とそれらが世界に占める割合を示したものであり、図3中のP～Rは、アメリカ合衆国、中国\*、ブラジルのいずれかである。P～Rと国名との正しい組合せを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 8

\*台湾、ホンコン、マカオを含まない。

	P	Q	R
①	アメリカ合衆国	中国	ブラジル
②	アメリカ合衆国	ブラジル	中国
③	中国	アメリカ合衆国	ブラジル
④	中国	ブラジル	アメリカ合衆国
⑤	ブラジル	アメリカ合衆国	中国
⑥	ブラジル	中国	アメリカ合衆国

# 統計データを見ながらOK!



統計年次は 2014 年。  
FAOSTAT により作成。

図 3

大豆は4大穀物の一つだが、食用油や家畜の飼料が多い。  
最新の統計では  
1位 ブラジル  
2位 アメリカ

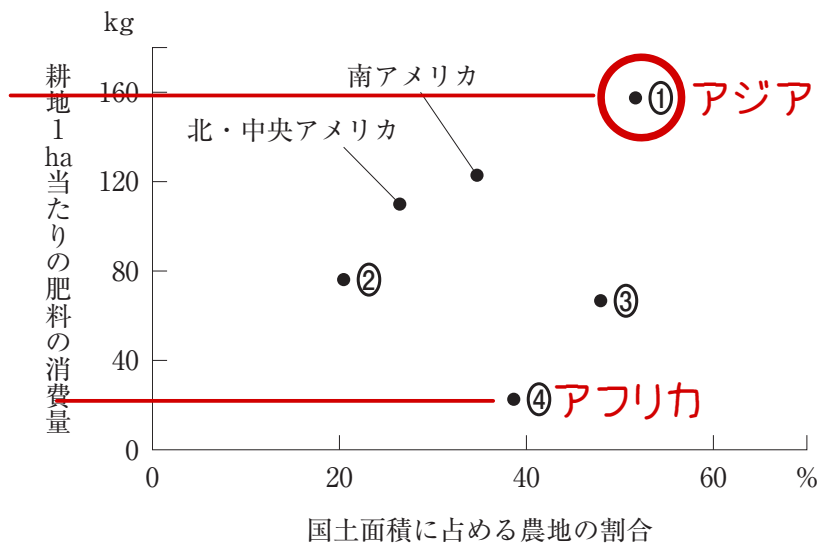
肥料も労働力も投入  
(集約的)

問 3 図 2 中のカード B を調べた班は、世界の地域別に統計資料を用いて、グラフを作成し分析した。次の図 4 は、国土面積に占める農地\*の割合と耕地 1 ha 当たりの肥料の消費量\*\*を示したものであり、①～④は、アジア、アフリカ、オセアニア、ヨーロッパのいずれかである。アジアに該当するものを、図 4 中の①～④のうちから一つ選べ。

\*農地には、耕地のほか牧草地などを含む。

\*\*ふん尿などの自給肥料の消費は含まない。

焼畑など粗放的



北・中央アメリカは、パナマ以北でカリブ海諸国を含む。

統計年次は 2013 年。

『世界国勢図会』により作成。

図 4

問 4 図 2 中のカード C を調べた班は、小麦、米、トウモロコシ、大豆の世界全体の生産量と輸出量を調べた結果を、表 2 にまとめて話し合った。そのとき用いられた次ページの図 5 は、大豆の輸入上位 5 か国の輸入量とその世界全体に占める割合を示している。下の会話文中の空欄カとキに当てはまる語句の正しい組合せを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 10

表 2

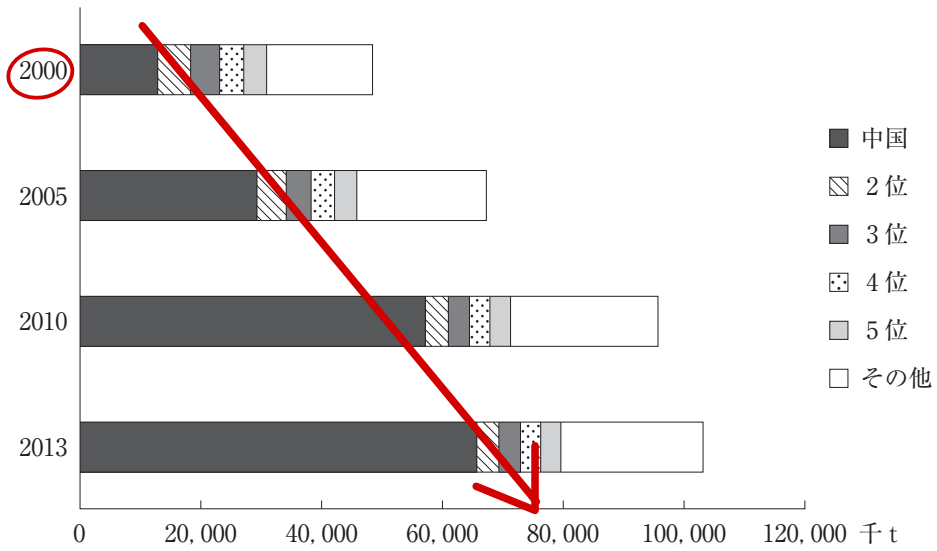
(単位：千 t)

作物名	生産量	輸出量
小麦	711, 142	162, 798
米	738, 064	37, 127
トウモロコシ	1, 017, 537	124, 222
大豆	278, 093	106, 169

統計年次は 2013 年。『世界国勢図会』により作成。

- 太郎 「生産量で一番多いのは、トウモロコシだね」
- 桜子 「逆に、大豆の生産量が一番少ないね」
- 次郎 「輸出量を見ると、小麦が一番多いことがわかるね」
- 桃子 「米は輸出量が少ないだけでなく、生産量に占める輸出量の割合も小さいから、( カ ) に生産している国や地域が多そう」
- 三郎 「逆に、大豆は生産量が少ないにもかかわらず、生産量に占める輸出量の割合が大きくなっているよ。図 5 にみられるように、それは世界の大豆輸入における中国の輸入量が拡大したことが、生産量に占める輸出量の割合を押し上げたみたいだね」
- 太郎 「なぜ、中国の輸入量が急激に増加したのだろうか？」
- 桜子 「それは、中国では経済発展にともなって食生活が変化して、( キ ) の大豆の需要が急激に高まったからでしょうね」

# BRICsは2000年以降に経済成長



中国は台湾を含む。  
『世界国勢図会』により作成。

図 5

	力	キ
①	自給的	食料用
②	自給的	飼料用
③	商業的	食料用
④	商業的	飼料用

問 5 図 2 中のカード D を調べた班は、世界各国の飽食・飢餓<sup>きが</sup>と健康との関係について資料を集め探究を進めようと、表 3 を作成した。表 3 中のサ～スは、サウジアラビア、タイ、ボリビアのいずれかである。またこの班では表 3 中の 6 か国を、2 か国ずつの X～Z の 3 グループに分類し、その考察した結果を表 4 にまとめた。サ～スの国名として最も適当なものを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

11

### 特徴的な数字に着目

表 3

国名	1人1日当たり 食料供給熱量 (kcal)	太りすぎ 人口の割合* (%)	5歳未満の 子供の死亡率 (%)
アメリカ合衆国	3,650	31.8	7
サ	3,063	35.2	15
ザンビア	1,911	4.2	64
シ	2,188	18.9	38
日本	2,695	4.5	3
ス	2,752	8.5	12

\*体重(kg)を身長(m)の2乗で割って算出される値が25以上の状態。  
 統計年次は、1人1日当たり食料供給熱量は2009～2011年の平均値、太りすぎ人口の割合は2008年、5歳未満の子供の死亡率は2015年。  
 世界銀行の資料などにより作成。

原油

表 4

グループ	国名	考察した結果
X	アメリカ合衆国 ( サ )	ともに1人当たり食料供給熱量、太りすぎ人口の割合は高位である。両国とも世界有数の高所得国であり、サは1970年代以降に急速にその経済的地位を上昇させた。
Y	ザンビア ( シ )	ともに1人当たり食料供給量は低位で、5歳未満の子供の死亡率は高位である。両国とも都市部への人口集中がみられ、シの都市住民の一部では食生活の欧米化がみられる。
Z	日本 ( ス )	ともに1人当たり食料供給量は中位であり、太りすぎ人口の割合は低位である。スでは屋台などの外食の割合が高い。

プリント86

	①	②	③	④	⑤	⑥
サウジアラビア	サ	サ	シ	シ	ス	ス
タイ	シ	ス	サ	ス	サ	シ
ボリビア	ス	シ	ス	サ	シ	サ

問 6 各班で調べた内容についてさらにクラスで学習を深め、世界の食料問題とその取組みについてポスターにまとめた。文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。 12

**世界の食料問題とその取組み**

○年○組

**緑の革命**

世界の食料問題は発展途上国と先進国で違いがみられる。発展途上国では、所得水準が低く食料の十分に得られない地域がある。食料の増産を目的とした対策の一つとして、20世紀半ば以降に推進された「緑の革命」では、① 高収量品種の導入や灌漑施設の整備などによっていくつかの国では穀物自給率が上昇した。ただし、農村部では十分にその恩恵を受けることができていない地域もみられる。近年では② 世界各地で異常気象による農作物の不作が報告されており、貧しい農村部でその影響が大きい。

一方、多くの先進国では、③ 国内消費を上回る量の食料品を輸入し、大量の食料が廃棄されるフードロスの問題が生じている。世界の一部では飢餓が生じているなか、先進国の飽食は発展途上国の犠牲のうえに成り立っているとも考えられる。国際貿易においては④ 農産加工品などの輸入において先進国がフェアトレードを推進しており、発展途上国の農家の生活水準が悪化している。食料問題を解決するには、先進国と発展途上国との格差を是正していくことが必要であり、私たちも食料問題に真剣に向き合わなければならない。

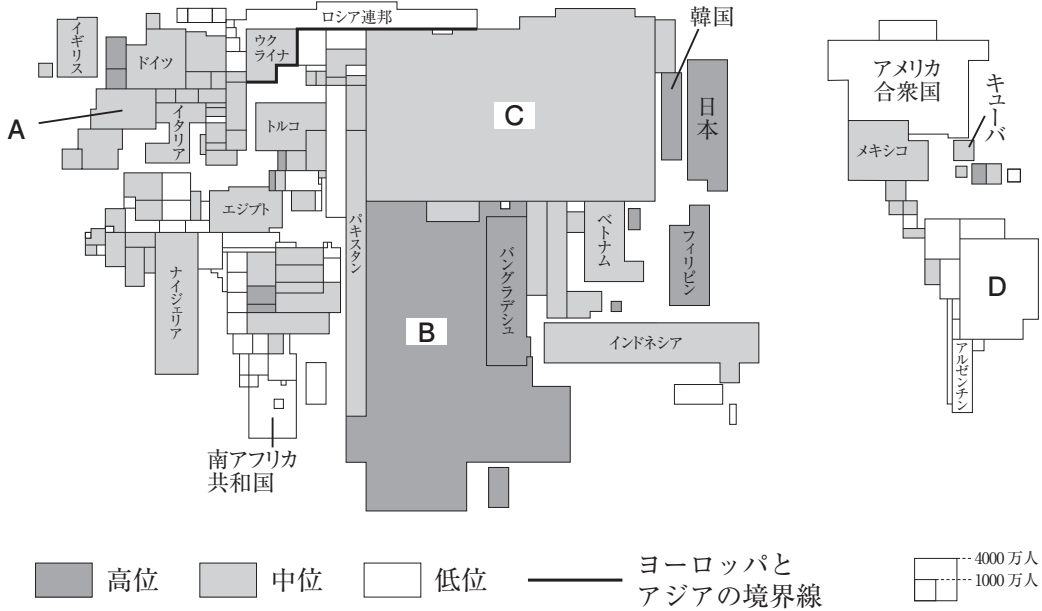
**先進国の消費者が発展途上国の農産物を適正な価格で購入すること**



第3問 世界の人口と都市に関する次の問い(問1～6)に答えよ。

問1 次の図1は、世界の主な国の人口のカルトグラムに人口密度を示したものである。図1から読み取れることがらを述べた文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

13



統計年次は、人口が2012年または2014年、人口密度が2015年。  
『世界国勢図会』などにより作成。

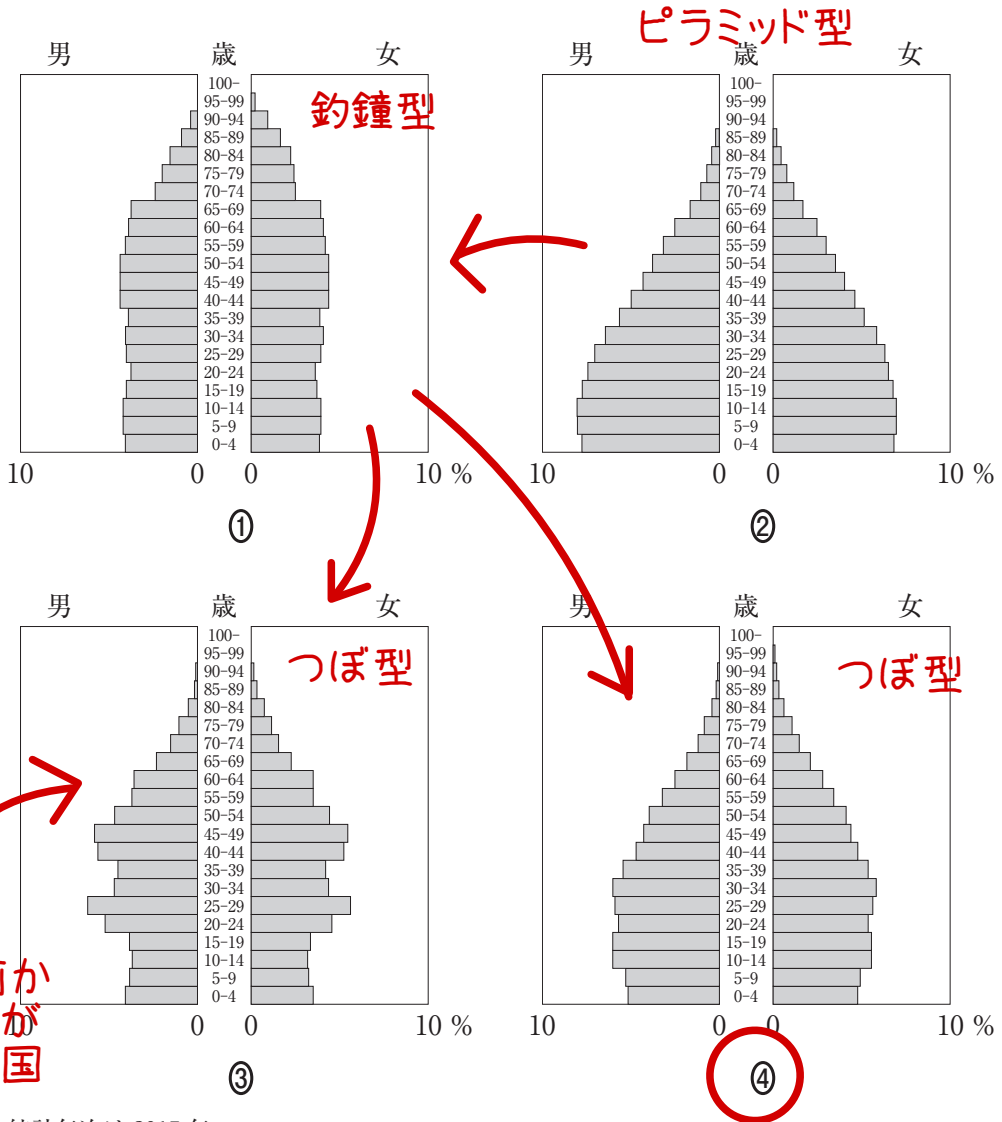
図 1

- ① ヨーロッパでは、国土面積が小さく、人口密度が高位の国が集中している。
- ② アジアは人口が最も多く、特に東アジアや南アジアでは人口密度が高位や中位の国が多い。
- ③ アフリカは人口増加率が高く、人口密度も高位の国が多い。
- ④ ラテンアメリカでは、人口密度が中位や低位の国が多く、特に中央アメリカでは低位の国が多い。

## 中学校の定番問題

問 2 次の図 2 中の①～④は、図 1 中の A～D のいずれかの国の人口ピラミッドを示したものである。D に該当するものを、図 2 中の①～④のうちから一つ選べ。

14



統計年次は 2015 年。  
『国連人口統計』により作成。

図 2

BRICs は 2000 年以降に経済成長

分かりにくい、地理常識問題

## アフリカ人口爆発

問 3 次の表 1 は、発展途上国の中でも BRICS に続く経済発展をみせているいくつかの国と日本の合計特殊出生率と 1 人当たりの GDP を示したものであり、ア～ウはインドネシア、ナイジェリア、メキシコのいずれかである。ア～ウと国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 15

表 1

	合計特殊出生率		<u>1人当たりの GDP(ドル)</u>	
	1990 年	2015 年	1990 年	2015 年
ア	6.49	5.59	686	2,763
イ	3.48	2.21	3,423	9,512
ウ	3.12	2.44	771	3,371
日 本	1.57	1.46	25,443	34,513

世界銀行の資料などにより作成。

人口で割るので、人口が多い国ほど少なくなりがち

	ア	イ	ウ
①	インドネシア	ナイジェリア	メキシコ
②	インドネシア	メキシコ	ナイジェリア
③	ナイジェリア	インドネシア	メキシコ
④	ナイジェリア	メキシコ	インドネシア
⑤	メキシコ	インドネシア	ナイジェリア
⑥	メキシコ	ナイジェリア	インドネシア

問 4 次のページの写真 1 のカ～クは、開発のすすむいくつかの都市の景観を撮影したものであり、次ページの文章は、各都市についての説明である。文章中の下線部 a～c について、正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 16

講習補助プリントを冬休みに暗記しよう  
今はできなくてもok



カ



キ



ク

写真 1

カはリオデジャネイロであり，a 近代的な開発が進んだ沿岸部に対して，土地条件の悪い傾斜地にはファベラと呼ばれる不良住宅地区がみられる。キは  
 シャンハイ(上海)であり，b 沿岸部の広大な用地に高層ビル群が建設され，商業・金融の世界的な中心地として発展している。クはドバイであり，c 巨額の  
 オイルマネーを背景に，世界最高層のビルや都市インフラの建設が進んでいる。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
a	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
b	正	正	誤	誤	正	正	誤	誤
c	正	誤	正	誤	正	誤	正	誤

問 5 次の図 3 は、日本における大都市の内部構造を模式的に示したものであり、下のサ～スの文は、図 3 中の E～G の各地区について述べたものである。サ～スと E～G との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 17

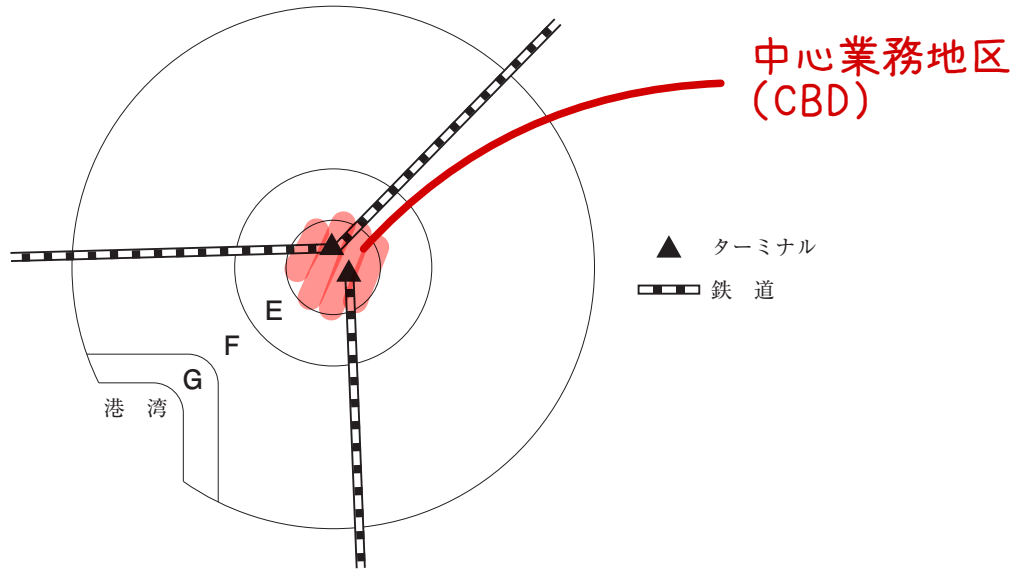


図 3

- サ 大規模な工場や倉庫群などが立地している。
- シ 中小の工場や商店などと住宅が混在している。
- ス 鉄道に沿って住宅地が形成されている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
E	サ	サ	シ	シ	ス	ス
F	シ	ス	サ	ス	サ	シ
G	ス	シ	ス	サ	シ	サ

問 6 次の X～Z の文は、日本の人口 30 万人程度のいくつかの市区について、それらの市区のようすを述べたものであり、下の表 2 中の タ～ツ は、それぞれの市区の昼夜間人口比率と年間商品販売額を示したものである。X～Z と タ～ツ との正しい組合せを、下の ①～⑥ のうちから一つ選べ。 18

X 行政と文化の中心となっている地方都市で、交通と経済の中心となっている隣接都市とは人口が競合している。

Y 大都市圏の副都心で、ターミナル駅付近には高層ビルが立ち並ぶ一方、その周辺には木造住宅や小さな工場が密集している地区もみられる。

Z 二つの大都市にはさまれた立地で、高度経済成長の時期に人口の急増がみられ、ベッドタウンとしての住宅開発が進んだ。

特徴的な2項目  
で判断

表 2

	昼夜間人口比率	年間商品販売額(百万円)
タ	148.6	1,856,287
チ	104.5	1,005,158
ツ	86.5	515,895

統計年次は、昼夜間人口比率が 2010 年、年間商品販売額が 2014 年。国勢調査などにより作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
X	タ	タ	チ	チ	ツ	ツ
Y	チ	ツ	タ	ツ	タ	チ
Z	ツ	チ	ツ	タ	チ	タ

都市部ほど高い  
郊外ほど低い

**第4問** 高校生のユウさんは、ヨーロッパについての課題研究に取り組んだ。次の図1を見て、ユウさんが調べたことに関する下の問い(問1～6)に答えよ。

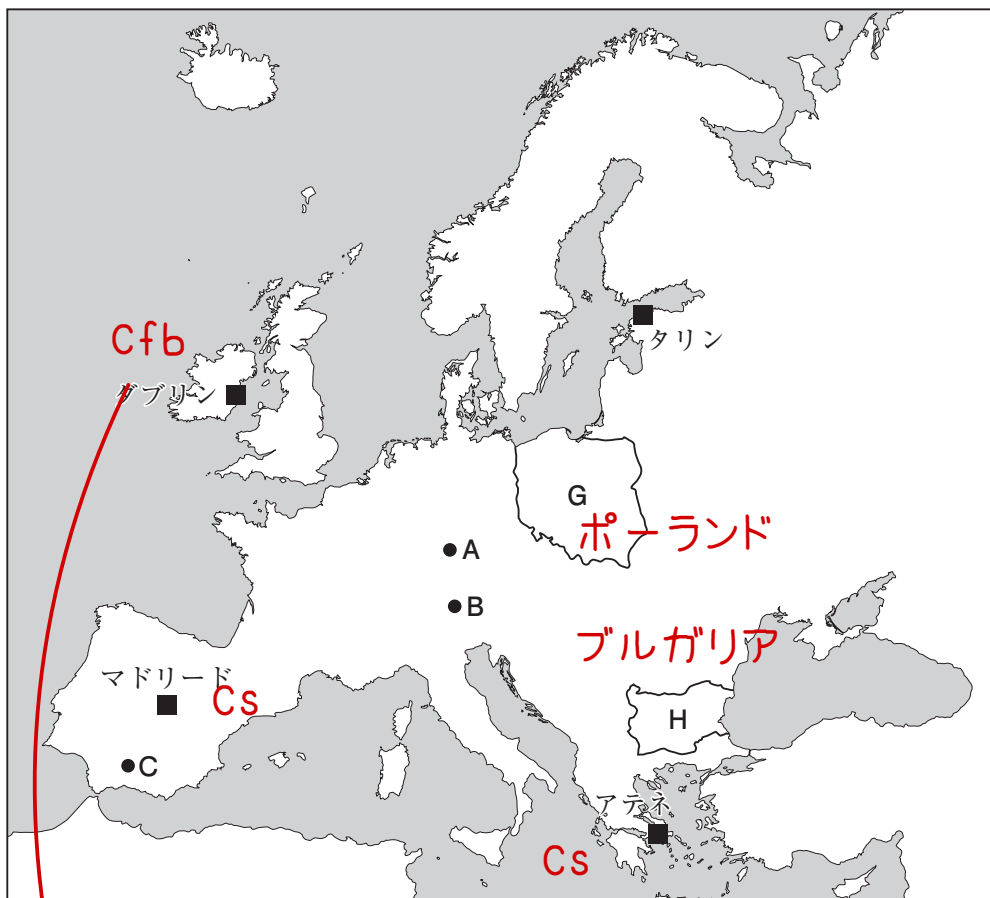
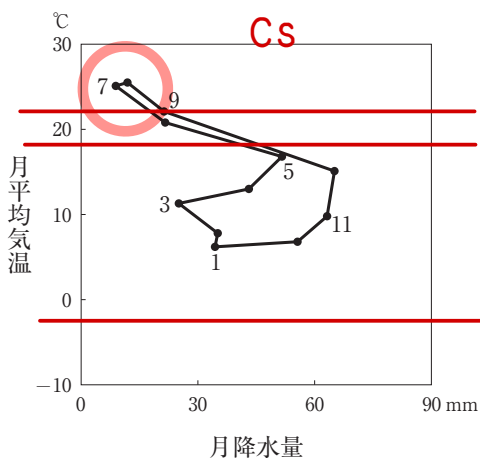


図 1

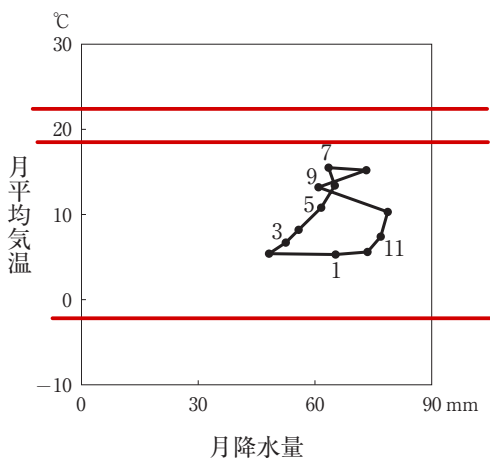
最寒月が $-3^{\circ}\text{C}$ 以上 $18^{\circ}\text{C}$ 未満  
最暖月が $22^{\circ}\text{C}$ 未満

これは間違えてはいけない。

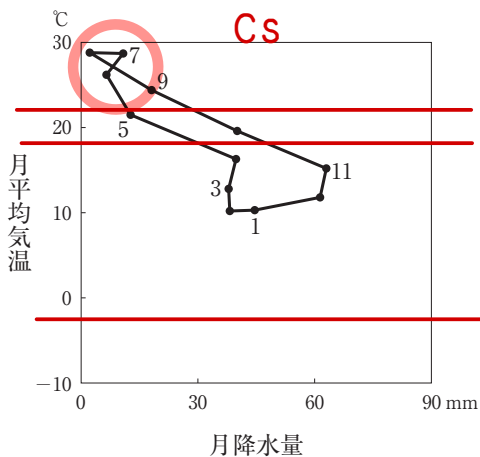
問 1 ユウさんは、ヨーロッパ各地の気候の違いについて調べた。次の図 2 中の①～④は、図 1 中のアテネ、ダブリン、タリン、マドリードのいずれかの地点における月平均気温と月降水量を示したものである。ダブリンに該当するものを、図 2 中の①～④のうちから一つ選べ。 19



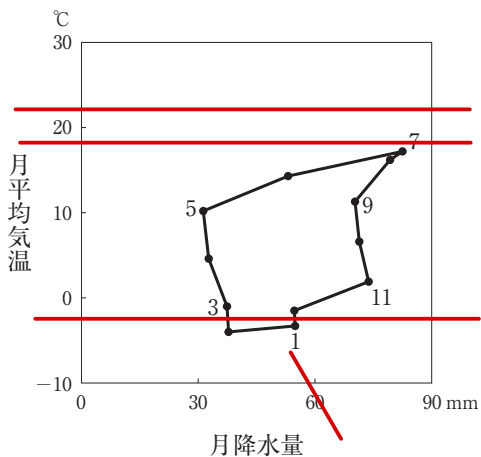
①



②



③



④

最寒月が $-3^{\circ}\text{C}$   
未満なので亜  
寒帯

『理科年表』により作成。

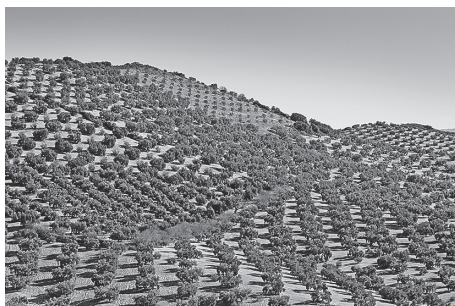
図 2



問 2 ユウさんは、ヨーロッパの景観が地域によって大きく異なることに気がついた。次の写真 1 中のア～ウは、図 1 中の A～C のいずれかの地点でみられる代表的な農業景観を撮影したものである。ア～ウと A～C との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 20



ア



イ

オリーブの木



ウ

アルプスの少女  
ハイジの世界

写真 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
B	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
C	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

特徴的な  
2項目で  
判断

問 3 ユウさんは、ヨーロッパの宗教と言語の多様性について調べた。図 1 中の G 国と H 国における主な言語と宗教との正しい組合せを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 21

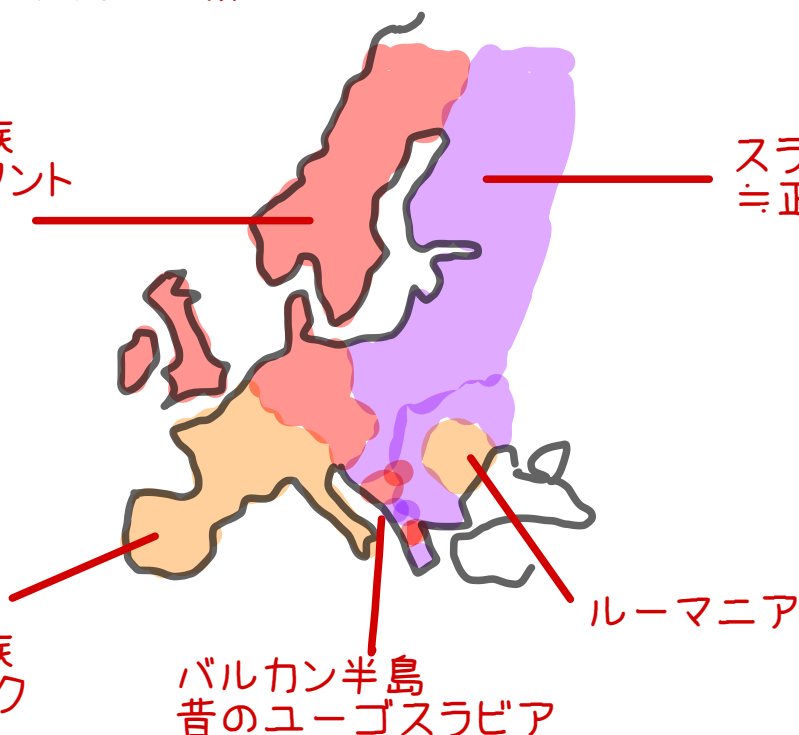
	G 国		H 国	
	言語	宗教	言語	宗教
①	ゲルマン語派	カトリック	ゲルマン語派	正教会
②	ゲルマン語派	正教会	ゲルマン語派	カトリック
③	スラブ語派	カトリック	スラブ語派	正教会
④	スラブ語派	正教会	スラブ語派	カトリック
⑤	ラテン語派	カトリック	ラテン語派	正教会
⑥	ラテン語派	正教会	ラテン語派	カトリック

宗教と民族は覚えにくいので  
以下のように視覚で理解する

地図帳p137

ゲルマン民族  
≡プロテスタント

スラブ民族  
≡正教会



問 4 ユウさんは、EU(欧州連合)の統合について先生に質問することにした。次の図 3 は、先生が示してくれたメモであり、これを参考にユウさんは EU の統合が進んだ理由を考えた。統合が進んだ理由として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 22

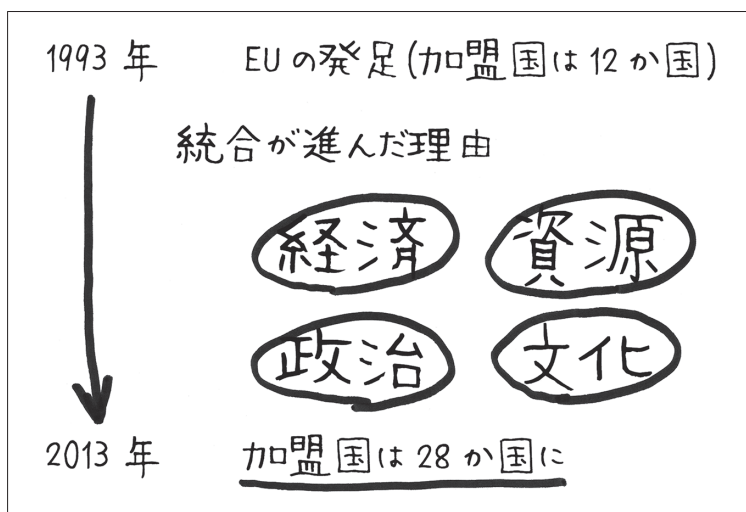


図 3

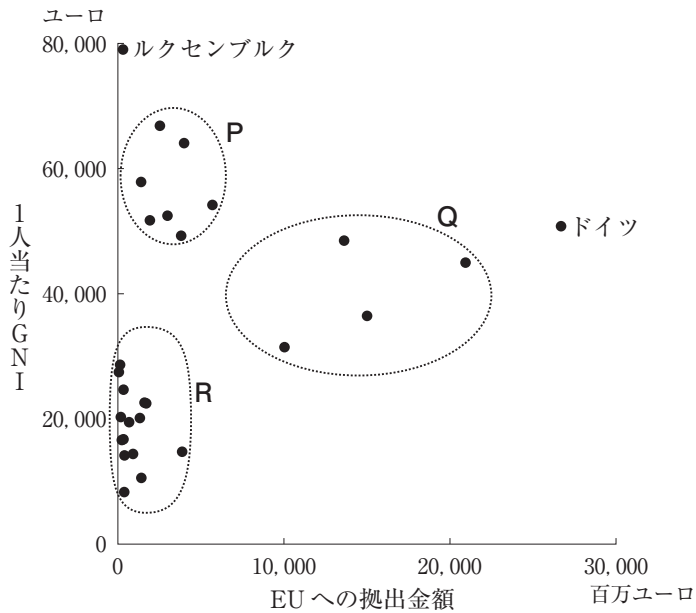
- ① 経済の面では、EU 域内で流通する工業製品や農産物に関税をかけて自国の産業を保護する必要があったため。
- ② 資源の面では、風力発電など自然再生エネルギーの共同利用を図り、資源をめぐる国家間の対立を緩和するため。
- ③ 政治の面では、東欧革命により東西冷戦時代が終わり、東ヨーロッパ諸国が統合を望んだため。
- ④ 文化の面では、食事の時にワインを日常的に飲む習慣が存在し、食文化の共通性が高かったため。

政経で扱う分野です

統計をチェック！  
人口が少ないほど  
高い数字に

問 5 ユウさんは、EU への拠出金の分担をめぐって、加盟国間で議論が交わされていることを知った。各加盟国の EU への拠出金額と 1 人当たり GNI(国民総所得)との関係を調べるために、ユウさんは次の図 4 を作成した。下のカ〜クの文は、図 4 中に示した P〜R の国家群について説明したものである。P〜R とカ〜クの文との正しい組合せを、下の①〜⑥のうちから一つ選べ。

23



統計年次は 2015 年。  
EUROSTAT などにより作成。

図 4

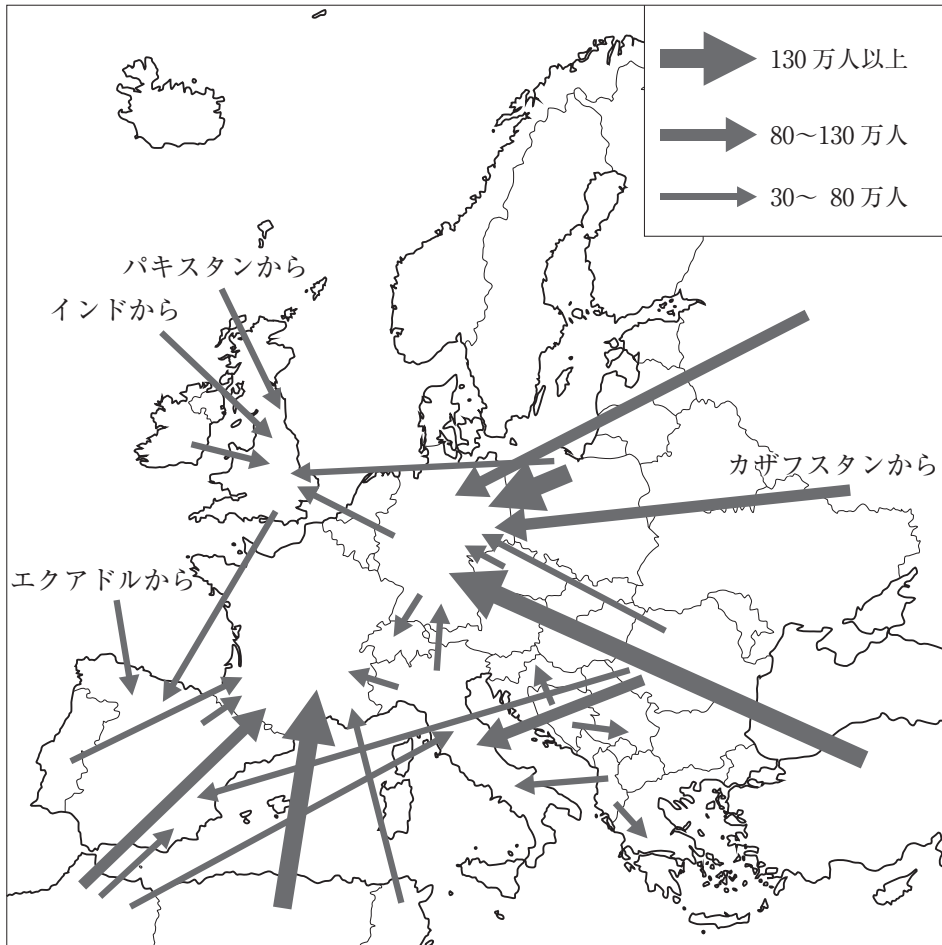
- カ EU の政治経済において中心的な役割を担ってきた国が多い。
- キ EU 発足後に新たに加盟した国が多い。
- ク 国内人口は少ないが、経済活動が活発な国が多い。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	カ	カ	キ	キ	ク	ク
Q	キ	ク	カ	ク	カ	キ
R	ク	キ	ク	カ	キ	カ

## 正直、あまり練られていない問題 出来なくてもok

問 6 EU 各国において国際的な人口移動が活発であることを知ったユウさんは、移民の流れを示した次の図 5 を作成し、このような移動がみられる理由について考えた。次ページの X ~ Z は、ユウさんが考えた仮説を示したものであり、サ ~ ス は仮説を確かめるために集めたデータを示したものである。X ~ Z とサ ~ ス の組合せとして最も適当なものを、次ページの ① ~ ⑨ のうちから一つ選べ。

24



統計年次は 2015 年。

*Trends in International Migrant Stock* により作成。

図 5

【仮説】

- X 旧宗主国と旧植民地の国々との間では言語の障壁が比較的 low、雇用機会が不足し治安が悪い旧植民地から旧宗主国への人口移動がみられた。
- Y 国境での審査なしで自由に入出国ができるようになり、先進国どうしの人々の相互移動が活発化し、大量の人口移動につながった。
- Z 産業が発達している先進国とその他の国々との間の賃金格差が大きくなり、賃金水準の低い国々から先進国に向けて移民が流出した。

【データ】

- サ EU 加盟国および周辺国における食料自給率についてのデータ
- シ EU 加盟国および周辺国における大学進学率についてのデータ
- ス EU 加盟国における 1 人当たり工業付加価値額についてのデータ

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| ① X－サ | ② X－シ | ③ X－ス |
| ④ Y－サ | ⑤ Y－シ | ⑥ Y－ス |
| ⑦ Z－サ | ⑧ Z－シ | ⑨ Z－ス |

**第5問** 関東地方の高校に通うサクラさんは、親戚が住んでいる静岡県中部(図1とその周辺)の地域調査を行った。この地域調査に関する下の問い(問1～6)に答えよ。



地理院地図により作成。第5問の地図はすべて同様。

図 1



図 2



図 3



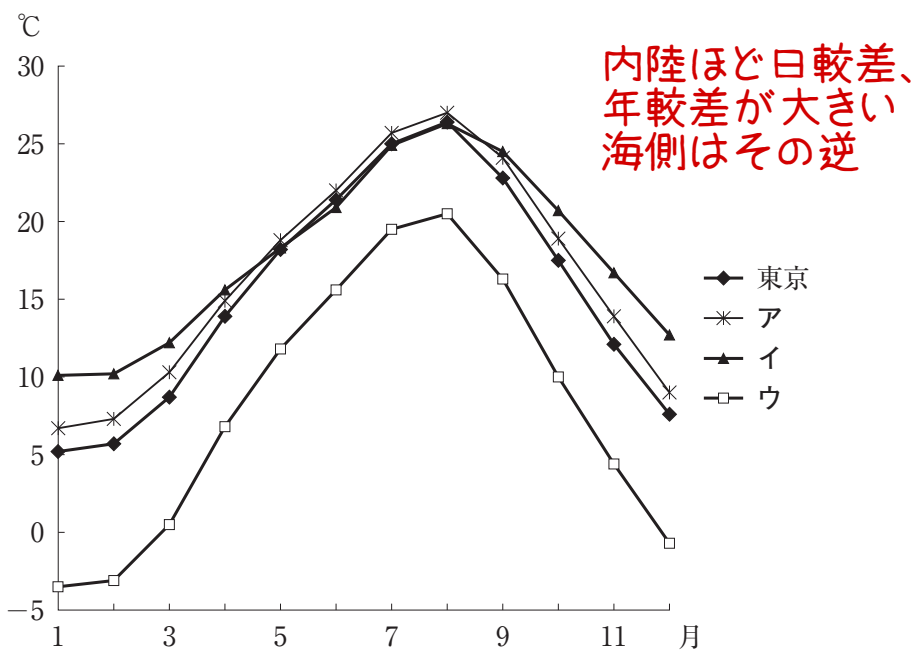
問 1 サクラさんは、静岡駅で新幹線を降り、親戚の住む焼津市を訪れるために、  
図 1 中の静岡駅を午前 10 時に出発した列車に乗り、焼津駅までの車窓からの  
景観を観察した。図 2 は安倍川駅付近の拡大図であり、図 3 は用宗 - 焼津間の  
拡大図である。車窓からの景観を説明した文として最も適当なものを、次の  
①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① 静岡駅を出て安倍川を渡る際に地形図と見比べたところ、地形図で示された位置と、実際に水の流れている位置が異なっていた。
- ② 図 2 の安倍川駅を出発すると、車窓の進行方向の右側に山地が見え、市街地より山側の斜面は全体が針葉樹林に覆われていた。
- ③ 用宗駅付近を走行している際に、日差しは進行方向の右側から差し込んでいた。
- ④ 用宗 - 焼津間のトンネルを出た所からビール工場までの間、進行方向の左側に海が見えた。

選択肢①はよく分からん  
でも消去法で②③④は消える

問 2 サクラさんは、静岡県中部が避寒地として古くから知られ、特に静岡市には伊藤博文、井上馨、西園寺公望など、東京在住の明治の元勳や元老たちの別荘があったことを聞き、気候についての資料を整理した。次の図 4 は、日本のいくつかの地点の月平均気温を示したものであり、ア～ウは軽井沢、静岡、八丈島のいずれかである。ア～ウと地点名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

26



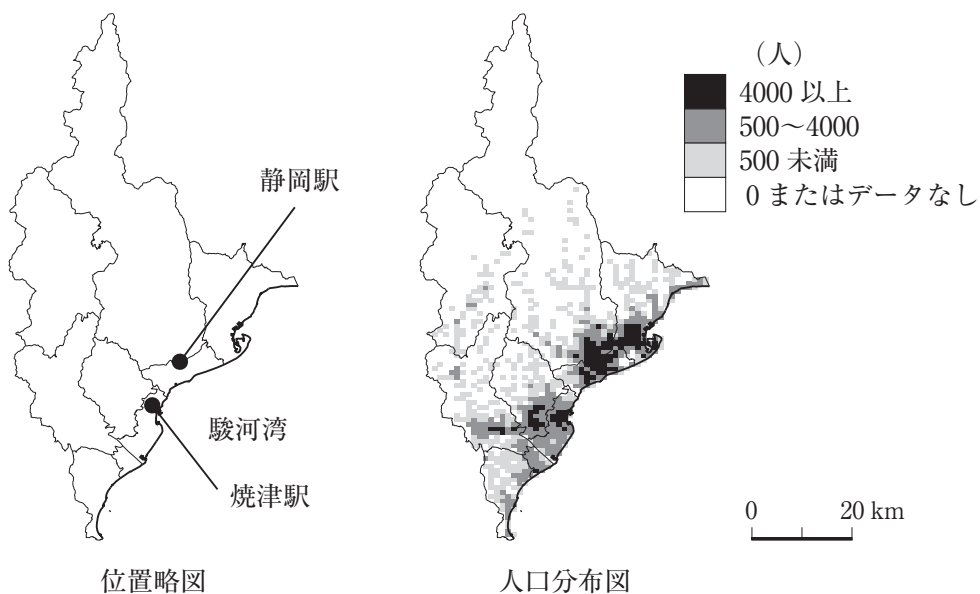
『理科年表』により作成。

図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
軽井沢	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
静岡	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
八丈島	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

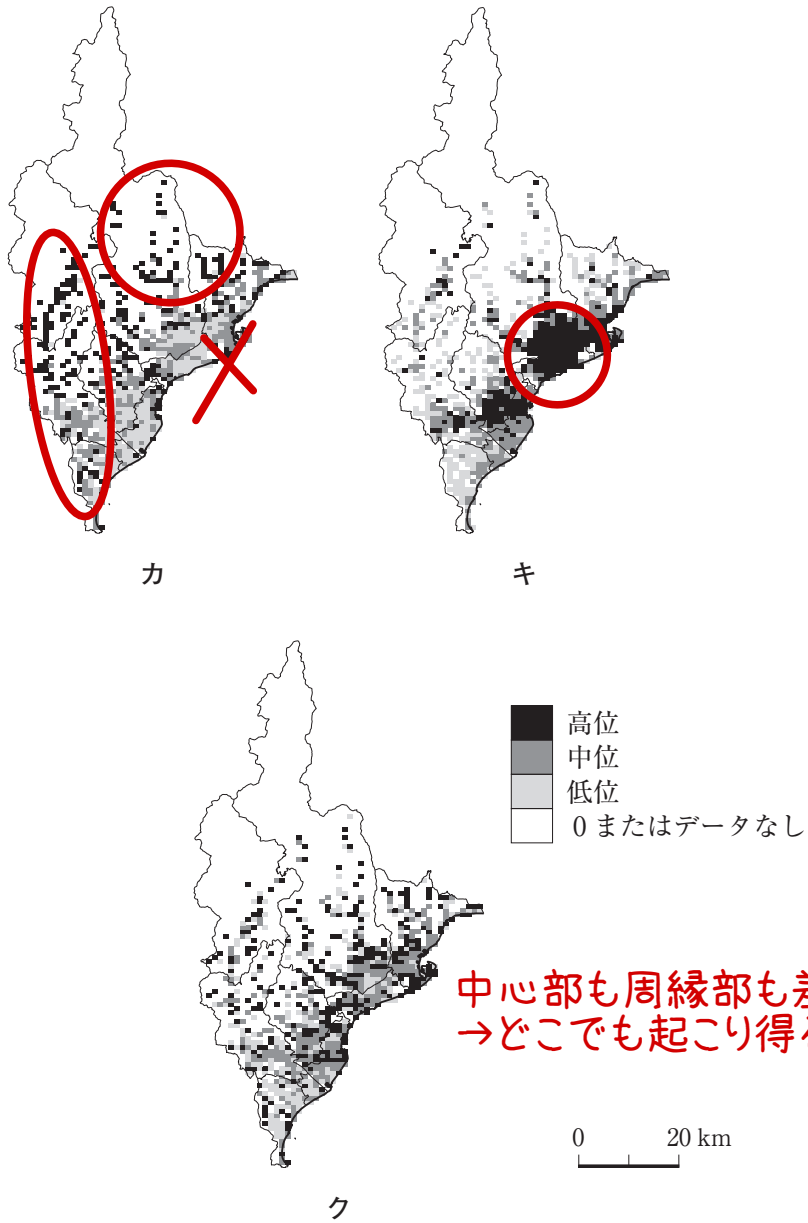
問 3 静岡県中部の市町村のすがたに関心をもったサクラさんは、この地域の人口統計データを用いた主題図を作成した。下の図 5 は、静岡県中部における市区町村の位置略図と、縦横約 1 km の単位地域からなるメッシュマップで表現した人口分布図である。次ページの図 6 は、いくつかの指標の分布を図 5 中の人口分布図と同様なメッシュマップで示したものであり、カ〜クは第 3 次産業就業者率、老年人口の増加率、老年人口率のいずれかである。カ〜クと指標名との正しい組合せを、次の①〜⑥のうちから一つ選べ。 27

	①	②	③	④	⑤	⑥
第 3 次産業就業者率	カ	カ	キ ●	キ ●	ク	ク
老年人口の増加率	キ	ク	カ	ク	カ	キ
老年人口率	ク	キ	ク	カ ●	キ	カ ●



統計年次は 2010 年。国勢調査により作成。

図 5



統計年次は第3次産業就業者率，老年人口率が2010年，老年人口の増加率が2000～2010年。国勢調査により作成。

図 6

問 4 焼津市の市街地を訪れたサクラさんは、次の写真1のような防災施設を見かけた。同様な施設は下の図7中の各地点でも見られた。この施設の目的や役割の説明として正しいものを、下の①～④のうちからすべて選べ。 28



写真 1

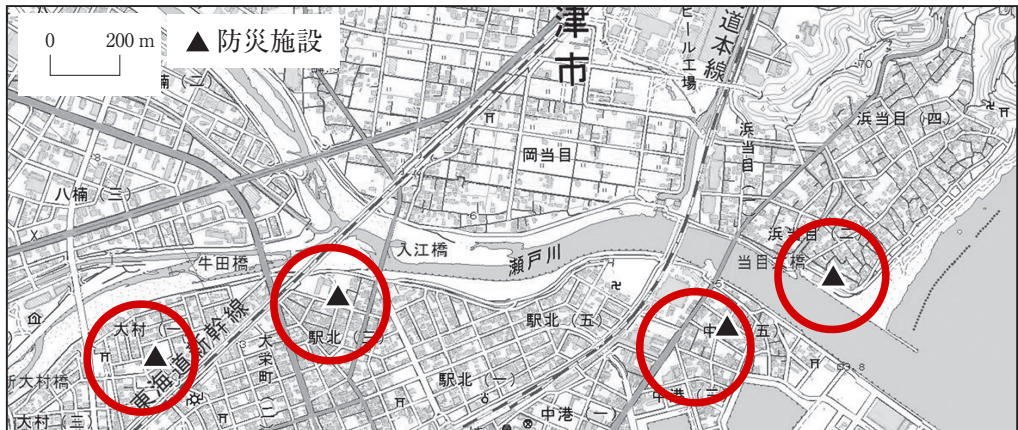
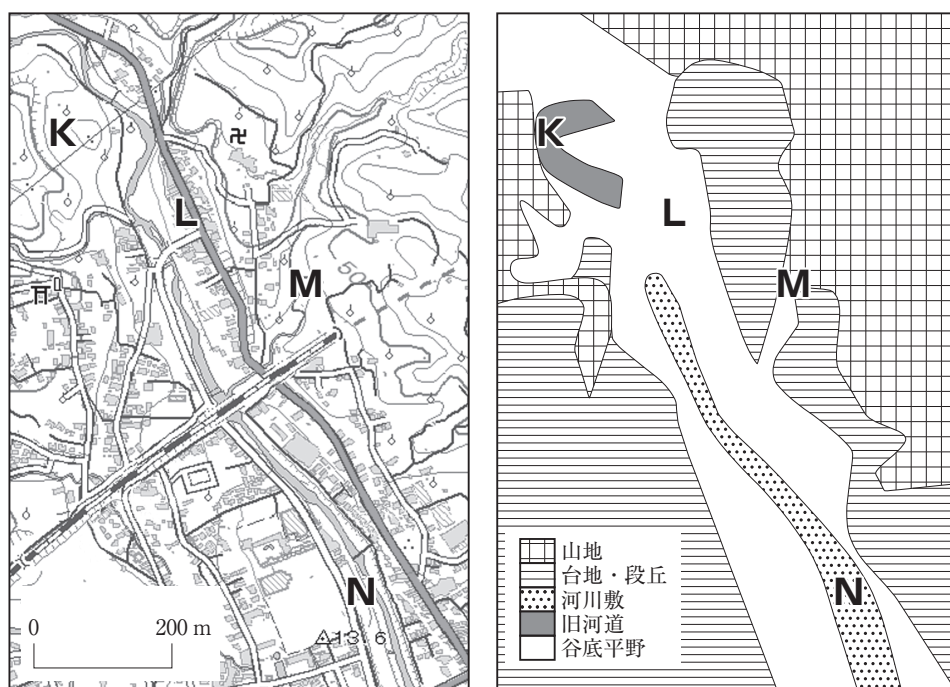


図 7

- ① 洪水による浸水を防ぐ施設
- ② 地震による液状化を防ぐ施設
- ③ 津波から避難する施設
- ④ 土石流から避難する施設

問 5 焼津市の防災施設を見て防災について関心をもったサクラさんは、静岡県中部で防災に関する地域調査を行い、地理の先生に報告した。次の図 8 は静岡県中部のある地域の地形図(左)と、同範囲の地形分類図(右)である。下のサクラさんと先生との会話文中の下線部サ～スの正誤の組合せとして正しいものを、次ページの①～⑧のうちから一つ選べ。 29



地理院地図，土地条件図により作成。  
地形分類図は小面積のものを一部省略してある。

図 8

先生 「興味深い調査をしてきましたね。図 8 や、サクラさんが調べたことをもとに、この地域の防災上の注意事項を考えてみましょう。たとえば K 地点は地形から見て、建物を建てる時には液状化の対策が必要かもしれないですね。他の地点についてはどう思いますか？」

サクラ 「はい、まずこの地区のハザードマップを見たところ、この図の範囲内に洪水の危険性がある箇所は描かれていませんでした。M地点付近は谷で土石流の危険性があると描かれており、サ 主に土砂災害の危険性があるので砂防ダムなどの対策が必要だと思いました。ハザードマップでL地点付近は急傾斜地崩壊危険箇所となっていました。L地点付近に30年前から住んでいるという方から話を聞いたのですが、このあたりで洪水を経験したことはないそうです。しかし、地形分類図も参考にすると、L地点付近では、シ 土砂災害とともに洪水にも注意が必要だと思います。N地点付近では、下の写真2のように、川の水面からは少し高く、道路より低い所が駐車場やテニスコートになっていました。N地点付近では、ス 洪水の危険性があり、大雨の際には近づかないほうがいいと思いました」

先生 「みなさんはどう思いますか？」




写真 2

**災害は安全とは言い切れないので、原則警戒が必要**


	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
サ	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
シ	正	正	誤	誤	正	正	誤	誤
ス	正	誤	正	誤	正	誤	正	誤

問 6 静岡県中部での地域調査を終えて、日本全体の自然災害や防災に関心をもったサクラさんは、教科書や資料集に挙げられている日本の自然災害や防災対策の概要を整理し、プレゼンテーション用の資料を作成した。次の図 9 はサクラさんがそのまとめとして作成したものである。日本の自然災害と防災対策をまとめた文として **適当でないもの**を、図 9 中の①～④のうちから一つ選べ。

30



## 日本の自然災害と 防災対策のまとめ



① 日本列島はもともと地震や大雨などが多く、自然災害を受けやすい場所に位置している。

② 機械を用いた高度な土木工事が困難だった時代には、かすみてい霞堤など、自然災害をもたらす現象をある程度受け入れる防災対策も行われた。

③ 現代では様々な防災対策が進んでいるが、地形からみて自然災害の危険性がある場所へ住宅地が拡大しているところもある。

④ 同規模の地震・大雨などの現象が発生すれば、時代や地域にかかわらず被害の大きさは同程度である。





図 9



## 地 理 B

問 題 番 号	設 問	解 答 番 号	正 解	備 考	問 題 番 号	設 問	解 答 番 号	正 解	備 考
第1問	A	1	1	4	第4問	1	19	2	
		2	2	2		2	20	2	
		3	3	3		3	21	3	
		4	4	4		4	22	3	
	B	5	5	3		5	23	5	
		6	6	4		6	24	9	
第2問	1	7	2	参考問題	第5問	1	25	1	
	2	8	3			2	26	5	
	3	9	1			3	27	4	
	4	10	2			4	28	3	*
	5	11	2			5	29	1	
	6	12	4			6	30	4	
第3問	1	13	2		(注) *は、過不足なくマークしている場合のみ正解とする。				
	2	14	4						
	3	15	4						
	4	16	1						
	5	17	4						
	6	18	3						